

事業名：社会資本整備総合交付金(防災・安全)(交安・重点)

所属・係名 富岡土木事務所・工務第二係

道路(郊外部)

1. 事業概要

(主)富岡神流線は、富岡市・甘楽町・藤岡市・神流町を結ぶ幹線道路で、周辺には織田家の庭園を再現した楽山園やゴルフ場、観光果物園等の観光施設がある。また、平成26年度に世界遺産として登録された富岡製糸場が近いことから年間を通して、多くの大型バスや自家用車の通行する区間となっている。

また、当該箇所は小幡小学校の通学路に指定されているが、幅員狭小で歩道が設置されていないため、自転車や歩行者が非常に危険な状況にあり、地域住民や学校関係者から自歩道の整備を熱望されている。
この未整備区間の延長L=600mについて、歩道を整備する事業である。



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・日本歴史公園100選に選定されている「甘楽総合公園」に隣接すると共に、町民に親しまれている紅葉山や小幡富士が一望できる。
- ・小幡小学校への通学路になっていると共に、公園利用者からの視界対象物となる。

3. 事業目的【ステップ2】

①現場から何を見せるのか

近傍の紅葉山や小幡富士に沈む夕日がよく見え、公園内にあるサクランボもよく見える。道路より一段高台にある織田公公園の武者塀がよく見える。

②どこから現場自体を見せるのか

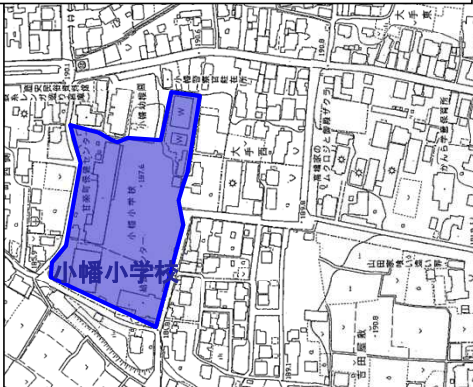
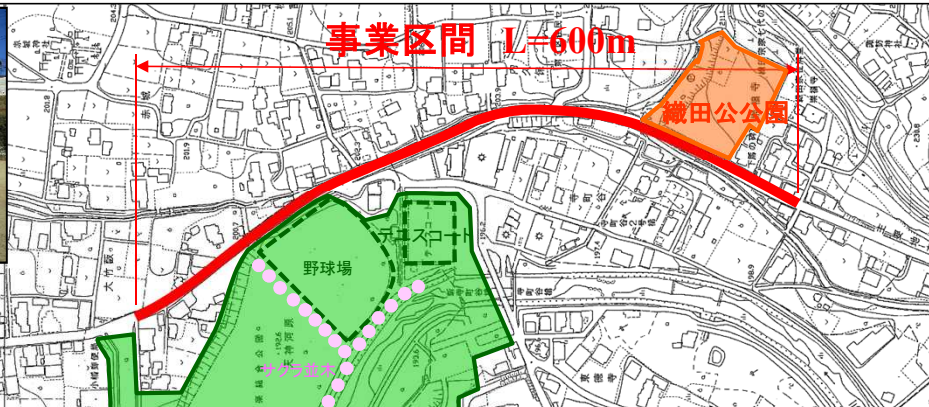
公園の野球場やテニスコートでプレイしている人達に、路肩構造物を見せる。道路利用者(歩行者、自転車、自動車)から見せる。

③目指すべき目標像

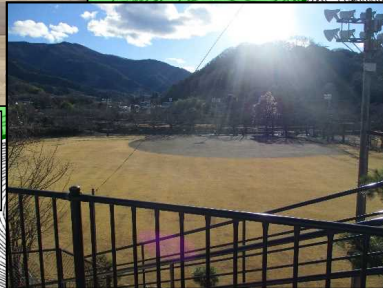
道路構造物が野球やテニス利用者の視界に入ってくるので、廻りの景色と調和した違和感のない土木構造物となるように、景観に溶け込む構造部とする。周辺環境に調和した施設整備をする。

4. 配慮内容【ステップ3】 (完成) (整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中 (想定される内容) >

グランドからの視界に構造物が入るため、周辺環境に調和させるように、明度の低い粗面タイプのコンクリートブロック積みとしたり、景観色に配慮した転落防止柵を設置した。また、植栽等で目隠しを行った。



歩道からは小幡富士に沈む夕日や、サクラの開花時期にグランドを眺められる。



小幡富士



甘楽町が整備を進めている「織田公公園」の外壁(武者塀)と調和するように、城壁を思わせる巨石積みを土留め構造物として採用した。

